

総務省MRAワークショップ — 東京

報告書のチェックー情報の有効性と完全性
認証機関向けのガイダンス
R&TTECAテクニカルガイダンスノート20原案

ピーター・ロッベン

(Pieter Robben)

2015年3月5日



Your Certification Resource

American Certification Body, Inc.

はじめに

- 歴史と背景
- テクニカル・ガイダンス・ノート20(TGN20)原案
- その他の関連文書
- 次の段階は?
- 重要な留意点



歴史と背景

- 2014年5月に開催されたR&TTE CAの会合
 - R&TTE指令に基づく認証機関における審査担当者の管轄範囲外にあるソースからの試験報告をどうやって検証するかという点に関するテクニカル・ガイダンス・ノート(TGN)を策定する可能性に関する話し合い
 - 当該TGNの原案を作成し、2014年における次の会合で提示することで合意した



歴史と背景

- 2014年12月に開催されたR&TTE CAの会合
 - 文書“TGN20報告書チェックのためのガイダンスー情報の有効性と完全性”が提示され検討・討議された



TGN20原案(要旨)

- 内容紹介

- ガイダンスは、認証機関が、日頃から接触のない代理店、製造者あるいは試験機関が提出した試験報告書の完全性および有効性を確認する手助けを提供することを意図したものである



TGN20原案(要旨)

- 内容紹介(続き)
- TGN20原案に含まれたガイダンスは包括的なものではなく、単に試験報告書の有効性チェックに関する提案を含むものである
- 認証機関が試験報告書および/またはその試験結果を受入れるかどうかを決定する際の参考となるであろう



TGN20原案(要旨)

- 内容紹介(続き)
 - このガイダンスがすべてのプロジェクトや活動に適用できるわけではなく、特に認証機関と申請者との間に確たる業務関係が築かれている場合などには当てはまらないという点は認めるところである
 - このガイダンスが適用されるのは、主として、審査用に提出された試験報告書の有効性および完全性に認証機関が疑問を持った場合である



TGN20原案(要旨)

- ガイダンス
 - 質問もせず単に料金を受け取るのではなく、プロジェクトについて話し合うことで申請者と良好な関係を築く
 - 認証機関、製造者、試験機関、代理店など関係者がすべて参加する形での会合や電話会議を要請し、ある当事者が他の当事者にとって賛同しかねるデータを作り上げてしまうといった懸念を払拭するよう計らう



TGN20原案(要旨)

- ガイダンス (続)
 - 試験機関に対し、機器をどのように試験したか、機器の機能はどうだったかについて質問する。技術者と直接話すこと
 - 代理店との連絡時：試験機関および製造者にあらゆる通信のコピーを送るよう代理店に依頼する
 - 試験機関との連絡時：製造者にあらゆる通信のコピーを送るよう試験機関に依頼する



TGN20原案(要旨)

● ガイダンス (続)

- 製造者との連絡時：試験機関にあらゆる通信のコピーを送るよう製造者に依頼する
代理店との連絡時：試験機関および製造者にあらゆる通信のコピーを送るよう代理店に依頼する
- 試験報告書に利害が対立する複数の試験機関名が記載されることが決してないようにする
 - 報告書を作成するのは単一の試験機関でも、測定は別の試験機関が行う場合がある
 - ある試験機関が別の試験機関に業務を委託することは許されているが、そのことは申請書および報告書上で明らかにさせておく必要がある



TGN20原案(要旨)

- ガイダンス (続)

- 報告書全体を通してフォントや文字スタイルに不統一な部分あるいは、不審な修正部分あるいは訂正箇所がないかをチェックする
- 試験結果が対象機器と合致する物かをチェックする。単に「合格したか、あるいは不合格だったか」という結果を見るのではなく「この試験はこの機器にとって適切なものか」を見極めること。万一試験結果が別の機器のものだとすれば、報告書の中にその手がかりがあるかも知れない



TGN20原案(要旨)

- ガイダンス (続)

- 試験状況を撮影した写真がすべてピントの合ったものであること、および試験中の機器がはっきりと写っていることをチェックする。写真に写っている機器が間違いなく試験を実際に受けた機器であることを確認する
- 一覧表にある試験機材が試験報告書に記載された試験計画(の種類)に合致するものであることをチェックする



TGN20原案(要旨)

- ガイダンス (続)
 - 試験報告書にリストアップされている試験機材が実際に試験に用いられた機材と間違いなく合致していることを確認する
 - 試験状況の写真および試験パラメーターが試験機材リストの内容と合致しているかをチェックする



TGN20原案(要旨)

- ガイダンス (続)
 - 試験状況の写真および試験パラメーターが試験機材リストの内容と合致しているかをチェックする
 - 万一試験報告書に間違いが見付かり、申請者にそれを知らせた時、どの程度の早さでその修正がされるかを見る。そのような場合、いずれの試験機関も時間をかけて調査し、時には再試験を実施すべきである



TGN20原案(要旨)

- ガイダンス (続)
 - 試験報告内容の変更あるいは修正が正しい方法でなされていることを確認する(改訂経過と改訂番号を示す文書が同封されているのが理想的)
 - 文書上で変造したように見える変更箇所がないかチェックする(例えばPDF文書上に直接修正を加えるなど)



TGN20原案(要旨)

- ガイダンス (続)
 - 徹底的な審査を実施し、気がかりな点はすべて問いただきます
 - 市場での調査結果が示すところによると、不正文書の作成や試験データの改ざんを行う代理店、製造者あるいは試験機関はあまり質問しない認証機関を探し求める傾向を間違いなく見せている



その他の関連文書

- R&TTECAテクニカルガイダンスノート18: 試験報告書には実際に行った試験の結果を記載するという要件に関するもの
- すべての試験について単に“合格”“不合格”“該当せず”といった判定を示すのみで実際の試験結果を記載していない報告書は受領を拒否すること



今後の取り組みは？

- テクニカルガイダンスノート20について、R&TTE CAは引き続き会員との協議を行うことにしている
- TGN20の最終文案が承認された後、同文案をR&TTE CAのウェブサイト上に掲載する予定 (www.rtteca.com)
- R&TTE CA会員は草案、協議内容、最終文案などすべての関連文書や議事録を見ることができる



重要な留意点

- R&TTECAテクニカルガイダンスノート(TGNシリーズ)はR&TTE指令1999/5/ECの文面にとって代わるものではなく、あくまでもガイダンスを目的とするものである
- 訴訟においては、同指令の内容あるいは加盟国における同指令の実践内容が優先する



質問は？

- 連絡先:
 - michaeld@acbcert.com
 - pieter@acbcert.com
 - www.acbcert.com

